

○●水稻の生育情報●○

ーコシヒカリの幼穂の形成が始まりました。間断かん水を行いましょう。ー

◇◆ 概況 ◆◇ (7月10日 水稻定点ほ場調査結果から)

7月上旬は、平均気温は平年と比べ3.6℃高く、日照時間は多くなりました。また、梅雨明けは7月6となり平年より15日早くなりました。

生育は平年と比較して、草丈は高く、茎数は少なくなっています(表)。また、幼穂長による出穂の予測も前回と比べて早くなっています。

表 定点ほ場の生育調査結果 (平成25年7月10日現在)

品種	調査地点	田植日	草丈 cm	茎数		葉色 葉色板	植付本数 本/株	栽植密度 株/m ²	幼穂長 mm	出穂期 予測※
				本/株	本/m ²					
コシヒカリ	坂東市	4/23	77.7	19	347	3.8	5.1	18.2	146.8	7/15
		(4/23)	(85.1)		(487)	(3.5)	(4.8)	(17.3)		
	境町	4/29	83.6	28	379	3.4	4.5	13.4	70.0	7/20
		(4/26)	(82.9)		(435)	(3.4)	(4.7)	(13.6)		
五霞町	5/6	82.4	28	450	3.4	4.1	15.9	9.8	7/27	
古河市		5/8	82.6	22	398	3.5	3.4	18.1	10.2	7/27
		(5/10)	(75.9)		(395)	(3.5)	(4.3)	(17.5)		

※出穂期予測は今後平年並みの気温で推移した場合

()内は過去5年間の平均値

注) 五霞町は H24 から地点変更のため平均値はない

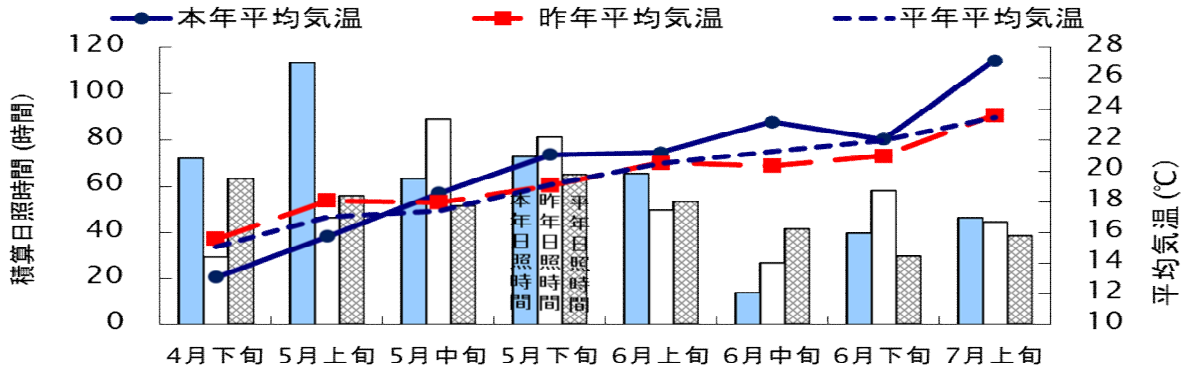


図 4月下旬から7月上旬の旬別平均気温と日照時間(古河) (注)平年値は1981年~2010年の平均値

◇◆ 今後の栽培管理 ◆◇

3~4日間隔で入水と落水を繰り返す「間断かん水」を出穂するまで続けましょう。

★病虫害防除(斑点米カメムシ対策)★

水稻の出穂期~穂揃期に斑点米カメムシ類を多数認めた場合は、防除を実施しましょう。なお、薬剤によって散布時期が異なります。

- ・ 粒剤の場合 出穂期 (全体の40~50%の穂が出たとき)
- ・ 液剤の場合 穂揃期 (全体の90%の穂が出たとき)

1回目の防除で不十分な場合は、7~10日後に再度薬剤の散布を行います。2回目の散布は液剤を使用して下さい。